



「夜桜」 昭和4(1929)年 大倉集古館所蔵 展示期間: 8月18日(金)~9月3日(日)

「夜桜」 昭和4(1929)年 大倉集古館所蔵 展示期間: 8月18日(金)~9月3日(日)

横山大観展

近代日本画の巨匠

初期から晩年までの代表作、一挙公開。

平成18年
7月30日(日)~9月3日(日)

開館時間 7:9月は9時30分~17時30分 8月は9時30分~19時30分
休館日 月曜日休館
会場 福岡市美術館 特別展示室A

主催 福岡市美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送
後援 福岡県、福岡県教育委員会(財)福岡市文化芸術振興財団、日本経済新聞社、西日本リテック新聞社、CROSS FM、FM Fukuoka LOVE FM、FREE WAVE TENJIN FM、西日本鉄道九州旅客鉄道、西日本文化センター、西日本天神文化センター、財)福岡文化財団
協力 横山大観記念館、日本美術院、福岡トヨペット、味の明太子ふくや、九州電力

福岡市美術館

◆観覧料/一般1,300円(1,100円)、高大生800円(600円)、小中生500円(300円)
回数券・2回券1,800円、回数券・3回券2,400円

※()内は前売りおよび30名以上の団体、シルバー手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳提示者の割引料金
※会期中、展示替えを予定していますので、お得な回数券(2回券・3回券)をご用意しています。
例:回数券2回券をご利用の方は、1名様で会期中2回ご来場いただくこともできますし、2名様で1回ご来場いただくことも可能です。

◆優先・回数券販売/ローソンチケット(Lコード87482)、チケットぴあ(Pコード686-661)、ソラリアプレイガイド、マインプレイガイドほか主要プレイガイドにて発売

記念講演会 I

■日時/8月20日(日) 午後2時から
■会場/福岡市美術館講堂
■講師/横山隆(横山大観記念館理事長)
■演題/祖父大観を語る

記念講演会 II

■日時/8月(未定)
■会場/福岡市美術館講堂
■講師/古田亮(東京藝術大学大学美術助教授)
■演題/大観芸術の意義について(仮題)

※聴講は無料。応募方法は往復ハガキに【住所・氏名・電話番号・聴講希望日】ご記入の上、福岡市美術館内「近代日本画の巨匠横山大観展係」までお申し込みください。

記念公演会 I は、8月10日必着。記念講演会 II は、チラシ発行時点では日程が確定していません。事前にお問い合わせの上、ご応募ください。応募〆切は開催日の10日前必着。

交通のご案内



○博多駅から地下鉄・大濠公園下車3番出口から徒歩10分
バス:交通センター(3番乗り場)から【系統番号13・140】で城内美術館東口下車 徒歩3分
○天神から地下鉄・大濠公園下車3番出口から徒歩10分、六本松下車 2番出口から徒歩10分
バス:協和ビル前(10番乗り場)から【系統番号13・140】で城内美術館東口下車徒歩3分、【系統番号12】で赤坂3丁目下車 徒歩5分
天神コアビル前から【系統番号7・14・200・201・204・205・209】で赤坂3丁目下車 徒歩5分

福岡市美術館 〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
FUKUOKA ART MUSEUM TEL: 092-714-6051
<http://www.fukuoka-art-museum.jp/>

TVQ九州放送営業局事業部「横山大観展」事務局 TEL: 092-262-0019

TVQ九州放送にて
7月放送予定

TVQ九州放送開局
15周年記念特別番組
「横山大観の四季」

横山大観の春夏秋冬を描いた代表的作品を紹介しながら、画家が愛した日本の自然・四季の中にカメラを構え、発想の源であった日本の自然の中に潜む魂や精霊を感じる瞬間を追います。果たして大観は自然と如何に向き合っていたのか…。大観芸術はどう生まれたのか…。ハイビジョンデジタル放送ならではの映像の美しさを通して、大観芸術をお楽しみください。

作品保全のため、多くの作品に展示期間の限定があります。会期中展示替えを予定していますので、事前にお確かめの上、ご来場ください。



「生々流転」(部分)重要文化財 大正12(1923)年 東京国立近代美術館所藏
展示期間:全会期



「雲峰飛鶴」昭和28(1953)年 横山大観記念館所蔵
展示期間: 全会期



「飛泉」明治33(1900)年頃
愛知県美術館所藏
展示期間:全会期



「或る日の太平洋」 昭和27(1952)年
東京国立近代美術館所蔵
展示期間: 全会期



「松並木」大正2(1913)年
東京国立博物館所蔵
展示期間:7月30日(日)~8月13日(日)



「無我」明治30(1897)年 東京国立博物館所藏
展示期間:7月30日(日)~8月6日(日)



「流燈」明治42(1909)年頃 個人藏
展示期間: 全會期



「龍蛟躍四溟」昭和11(1936)年 宮内庁三の丸尚藏館所藏
展示期間:8月15日(火)~9月3日(日)



「屈原」明治31(1898)年 巖島神社所藏
展示期間:7月30日(日)~8月20日(日)

近代日本画の巨匠
横山大観展
— 加賀から晩年までの代表作 — 華公館

近代日本画の巨匠

初編から晩年までの代表作、一挙公開

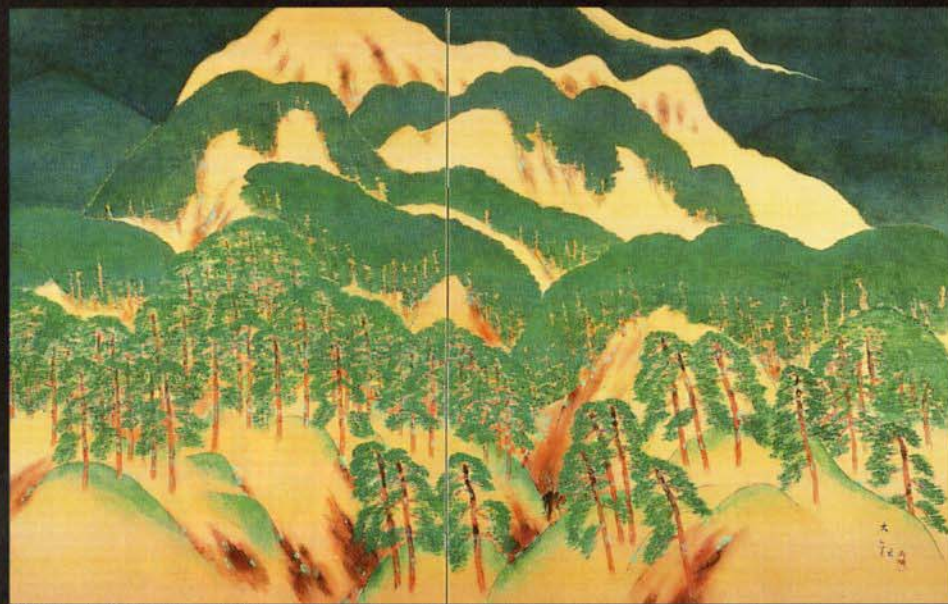
花は桜木、山は富士、
画家は大観。



「武藏野」明治28(1895)年 個人藏
展示期間:全會期



「秩父雲峯春曉」 昭和3(1928)年 宮内庁三の丸尚蔵館所蔵
展示期間:8月15日(火)~9月3日(日)



「喜撰山」大正8(1919)年 個人藏
展示期間:全會期



「瀟湘八景のうち漁村返照」 昭和2(1927)年 大倉集古館所蔵
展示期間:7月30日(日)~8月17日(木)



「海に因む十題の内・浦漢」 昭和15(1940)年 五島美術館所蔵
展示期間:8月15日(火)~9月3日(日)



「焚火」大正4(1915)年 熊本県立美術館所蔵
展示期間:8月15日(火)~9月3日(日)



「南溟の夜」 昭和19(1944)年 東京国立近代美術館所蔵
展示期間:全会期

この展覧会は、近代日本画の大巨匠である横山大観「1868明治元年—1958(昭和33)年」の初期から晩年までの珠玉の名品を一堂に展示する回顧展です。横山大観は、茨城県水戸市に生まれました。開校した東京美術学校の第一期生として入学、同校の校長でもあり明治時代の第一級の偉人でもあった岡倉天心や日本画家・橋本雅邦のもとで東洋美術、日本画を学びました。後に同校の助教授を勤めますが天心の美術学校の辞職に従い日本美術院の創立に参加し画友の下村観山や菱田春草らと共に新しい日本画の創造に努めました。またインド、欧米、中国などへの旅行をとおして東洋精神への信頼を深めました。岡倉天心亡きあとには、当時制度をととのえつつあった官展に対抗し、美術院を再興するなど実りある在野精神を示しました。画業においても天心が唱えた東洋的理想主義の実現を目指して数々の話題作を発表し近代日本画界の中心人物として大活躍しました。美術の教科書などによく紹介される「無我」、「屈原」、「生々流転」、「夜桜」などは私たち日本人の心に感銘を与え続けてきた歴史的名品です。こうした画業や若々しい在野精神、加えて大観本人が持っていた、大気宇な人柄は広く国民大衆がこよなく愛するものでした。第二回文化勲章受章はその証しです。ところが残念なことに九州・福岡の地では長く大観展を鑑賞する機会に恵まれませんでした。が、このたび待ち望んでいた「横山大観展」の間催のはこびとなりました。大作屏風、掛軸、巻物などの名品の数々で高くて大きかった横山大観芸術の神髄、気品、格調をお楽しみ下さい。